

ミッション

持続可能な調達活動を通じ社会価値を創造する

私たちは、長期的に環境、社会、経済をよりよくしていくため、次に掲げる4項目をサプライチェーン全体に浸透させていくことで、持続可能な社会と価値創造の実現に向け、誠実に取り組みます。

1. 透明性
2. コンプライアンス
3. QCD(品質、コスト、供給)
4. 持続可能な調達活動 & イノベーション

ブリヂストングループは、2018年に策定した「グローバルサステナブル調達ポリシー(以下、調達ポリシー)」に基づき、長期的に環境、社会、経済をよりよくするため、お取引先様と協力して持続可能なサプライチェーンの早期実現に貢献していきます。また、2050年を見据えた環境長期目標として掲げる「100%サステナブルマテリアル*1化」の実現に向けて、取り組んでいます。

*1:ブリヂストングループでは、「継続的に利用可能な資源から得られ、事業として長期的に成立し、原材料調達から廃棄に至るライフサイクル全体で環境・社会面への影響が小さい原材料」をサステナブルマテリアルと位置付けています。

コンプライアンスの強化

当社グループは、サステナビリティに関する国際的な調査・評価機関であるEcoVadis社による、環境・社会・ガバナンス(ESG)に関するアセスメントを実施しています。2020年3月時点で、48%のタイヤ原材料のお取引先様にアセスメントを受けていただき、さらに、そのうちの55%が、当社グループが定める持続可能な調達活動の基準を十分に満たしています。また当社グループでは、調達ポリシーの内容とアセスメントの結果に基づき、お取引先様のESG活動の改善に向けた支援として、各地域において持続可能な調達のためのセミナーを実施しました。2019年は日本において65社のお取引先様に参加いただきました。

天然ゴムのサステナビリティに向けた取り組み

当社グループは、天然ゴム需要の増加、そしてそれに伴う重要な環境問題や社会課題について認識し、それに応えることに常に注力しています。世界の天然ゴム生産の大半は、東南アジアの小規模ゴム農家で行われており、当社グループでは、タイやインドネシアの小規模ゴム農家の方々に、生産性向上を支援するワークショップを開催しています。また、主要な天然ゴム生産国において

品質の高い天然ゴムの苗木を配布するとともに、自社農園向けに開発した生産性向上技術のトレーニングを実施しています。

また当社グループは、調達ポリシーへの理解を深めていただけるよう、様々な地域で天然ゴムのお取引先様を対象にした説明会も毎年行っています。これらの説明会に加え、2019年には、100以上の天然ゴム生産工場を訪問し、天然ゴムの品質改善やトレーサビリティ向上の取り組みを支援しました。さらに、EcoVadis社によるアセスメントのスコアに基づき、3か所の天然ゴム生産工場に再度訪問し、更なるESG向上のための活動を支援しました。

パートナーシップ

持続可能なサプライチェーンの実現に向けた活動は、自社だけでなく、業界全体で取り組まなくてはなりません。当社グループは、様々なステークホルダーの皆様とともに、天然ゴムのサプライチェーンにおける、環境面・社会面・経済面の改善を目的とした、「持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム」(GPSNR)を始動させました。GPSNRを通じて、人権尊重の促進、土地収奪や森林破壊の回避、生物多様性や水資源の保全、天然ゴムの収量の向上、サプライチェーンの透明性とトレーサビリティ向上のための基準作りを進めています。当社グループは2020年も引き続き、GPSNRのエクゼクティブコミティのメンバーとして、NGO、天然ゴムサプライヤー、自動車メーカー、他タイヤメーカーなどの様々なステークホルダーからなるGPSNRのメンバーとともに、天然ゴムのサプライチェーンの透明性とトレーサビリティ向上に向けた取り組みを積極的に推進していきます。

ブリヂストングループは、天然ゴムのバリューチェーンにおける環境面、社会面、経済面の改善に向けて、大きな役割を果たしてきました。GPSNRの創立メンバー、そしてエクゼクティブコミティのメンバーとして、保証システム、財務モデル、苦情処理メカニズムなど、GPSNRの重要なプロセスの整備に積極的に取り組んでいます。また、他のGPSNRのメンバーとともに、複数のワーキンググループに参加し、有益な議論と知見・データの共有を通じて、GPSNRの目的・戦略の策定と実施を進めています。

ステファノ・サヴィ

Stefano Savi

持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム(GPSNR)
ディレクター